

JOMF 派遣医師便り (2016. 2)

◆マニラ◆

赤ちゃんが突然発熱と共にケイレンを起こしました、 救急車を呼ぶべきですか？

マニラ日本人会診療所
菊地 宏久

赤ちゃんが突然高熱を出しました、
突然嘔吐しました、
高熱と共に発疹が出現しました、
息がゼーゼーして呼吸が速くなっています。
ケイレンをおこしました、
転倒して頭を打ち、嘔吐しています、

でも今は深夜です、どうしたらよいのでしょうか？ 救急車を呼ぶべきですか？ 夜中ですが病院へ行って診てもらうべきでしょうか？ 明朝まで待っても大丈夫でしょうか？ 様々な不安が襲ってきます。

当地マニラには日本のような救急搬送システムはありません。救急車を呼んでも断られたり、現場到着まで2時間以上かかることもしばしばです。言語の問題、保険の問題、医療への考え方の違い、マニラと日本とでは医療事情・医療環境が大きく異なります。マニラにおいて赤ちゃんの病態が突然変化したときにはどのように対処したらよいのでしょうか？

このようなことについて 2016年2月2日に「マニラ・メディカル・ボランティア」の方々の企画でセミナーを行いました。メンバーの方々に加えて、5か月から1才までの赤ちゃんがいらっしゃる12組の母子も参加してくださいました。皆さん真剣に議論をし、“見逃してはならない赤ちゃんのサイン”、“病院に行くまでに家庭で行うべき緊急時の対応”、“日本とフィリピンでは異なる薬の飲み方や保存の問題”などについても質疑応答をしました。重症化すると飛行機に搭乗できなくなり日本への緊急帰国ができなくなる可能性もあります。対応はそれぞれの症例により異なりますが「早め早めの対応」が望ましいと思います。

日本とは異なる医療環境の中で我々は生活しています。重症化しないために、慢性化しないように患者さん御自身で対策を練ることも大切です。

皆さんがマニラで健康に、より安心して過ごせるように当診療所もスタッフ一同で努め

てまいります。

皆さま、どうぞお体を大切にしてください。

マニラ・メディカル・ボランティア (MMV) について：

メンバーは現在十数名で、日本の医療・保育現場経験者がマニラでの妊娠、出産、育児についての勉強会や情報提供を行ってくださっています。マニラ日本人会の組織ではありませんが日本人会診療所行事などもお手伝いして下さっています。ありがとうございます。

(MMV への連絡先などはマニラ日本人会診療所の掲示板に掲示してあります。日本人会事務局ではなく MMV へ直接ご連絡ください。)